

結果概要

敦賀市教育委員会

敦賀市教育委員会では、平成28年4月より全市的に「小中一貫教育」を進め、小・中学校の先生方が学びの「つながり」を意識し、「つまずき」をなくすための授業づくりに取り組んできました。家庭・地域の皆様のご協力もいただきながら、本市の子どもたちは着実に力をつけてきています。今年度の調査結果についてお知らせします。

知

教科に関する調査の結果

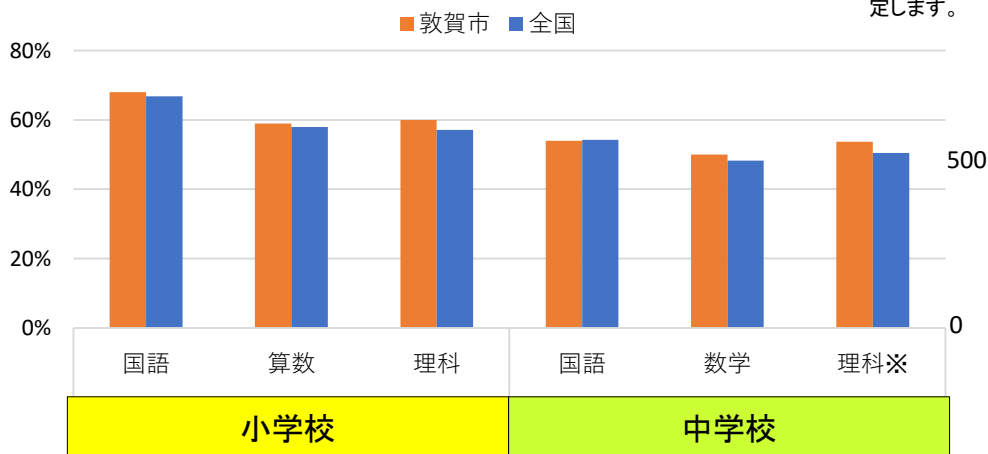
本市と全国の平均正答率(%)

- ・令和7年4月17日実施
- ・小学6年生 国語・算数・理科
- ・中学3年生 国語・数学・理科
- ※理科は4月14日～17日で実施

調査問題は[こちら](#)

	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科※
敦賀市	68	59	60	54	50	522
全国	66.8	58.0	57.1	54.3	48.3	503

※IRTスコアで表記
IRTスコアとは、項目応答理論 (Item Response Theory: IRT) に基づいて、個人の学力や能力を推定した得点です。500点を基準値とし、この理論に沿って難易度の異なる各設問への受験者の反応を分析して能力を数値化します。単に正答数を数えるのではなく、問題の難易度や受験者の解答パターンを詳細に分析し、能力を推定します。



小学6年生は、3教科とも平均正答率で全国平均を上回りました。中学3年生は、国語が全国平均とほぼ同じ、数学・理科では上回る結果となりました。

【全国学力・学習状況調査について】

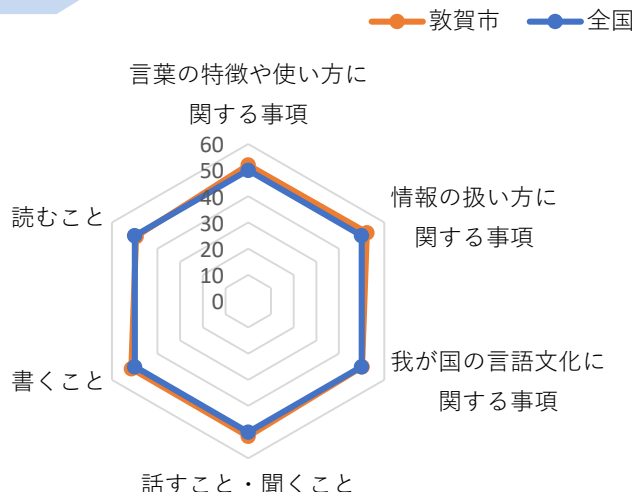
児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的として、小学6年生・中学3年生を対象に実施されています。

本調査の結果は、学校における教育活動の一側面ではありますが、この結果を今後の授業改善に生かしていきます。

学習指導要領の内容別の結果(本市と全国)

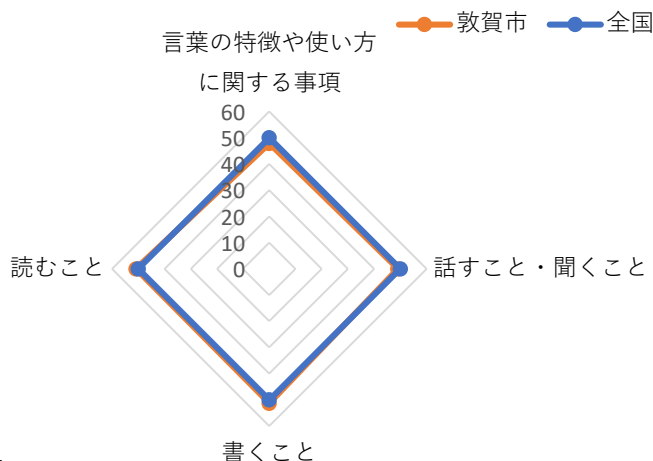
小学校

学習指導要領の内容		敦賀市	全国
知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	52.0	50
	情報の扱い方に関する事項	52.3	50
	我が国の言語文化に関する事項	50.2	50
思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	51.6	50
	書くこと	51.5	50
	読むこと	49.4	50



中学校

学習指導要領の内容		敦賀市	全国
知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	47.9	50
	情報の扱い方に関する事項	—	—
	我が国の言語文化に関する事項	—	—
思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	49.1	50
	書くこと	51.3	50
	読むこと	50.9	50



※全国の領域別平均正答率(%)を50として敦賀市の値を算出

- ・小学校は、ほぼすべての面で全国平均を上回っています。特に、小学校では、知識及び技能の「情報の扱い方に関する事項」について、中学校では、思考力、判断力、表現力等の「書くこと」について敦賀市の子どもたちが力をつけていることが分かります。
- ・小中学校ともに、「思考力、判断力、表現力等」に関して、全国平均を下回る項目が見られました。

○良好であること ●課題であること(設問別)

【小学校国語】

- 図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること【2二】(次頁参照)
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと【2四(ア)】
- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること【3三(1)】(次頁参照)

【中学校国語】

- 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えること【3二】
- 目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること【1二】(次頁参照)
- 読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること【4二】(次頁参照)

〈良好〉

小学校

○図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること【2二】

- 1 言葉に関係のない図を示すことで、別のもようについての興味を高めるため。
- 2 二つの図を並べて示すことで、もよりの移り変わりを明確にするため。
- 3 言葉と図を合わせて示すことで、具体的に内容を理解できるようにするため。
- 4 言葉と図を比べて示すことで、疑問点を明確にするため。

【正答】 3

山田さんが手ぬぐいの模様について言葉と図で説明した理由として適切なものを選択する

正答率

82.3%

ニ 山田さんは「手ぬぐいの模様」の中で、手ぬぐいの模様について言葉と図で説明しています。その理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

中学校

○目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること【1二】

- 1 小学校6年生に向けたちらしであることを示すため。
- 2 ウェブページの情報と比較しやすくするため。
- 3 会場となる体育館まで迷わずに来ようとするため。
- 4 展示する作品と体験コーナーの内容や配置を伝えるため。

【正答】 4

【ちらし】

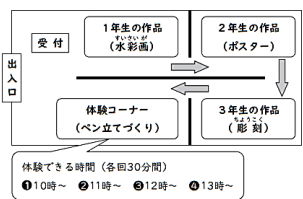
第一中学校 美術展

毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。
私たちが美術の時間につくった作品を展示します。どれもかいたの出来です。
今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。
体験コーナーでは、中学生と一緒に、好きな色のタイルを貼って自分だけのペン立てをつくることができます。

日時 令和7年11月15日(土) 10時~16時

場所 第一中学校 体育館

会場図



ニ 中井さんは、【ちらし】に、【第一中学校のウェブページ上のお知らせ】には示されていない「会場図」を加えました。どのような目的で加えたと考えられますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

ちらしに「会場図」を加えた目的を説明したものとして適切なものを選択する

正答率

84.0%

〈課題〉

小学校

●目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けすること【3三(1)】

- 1 【資料1】の部①
- 2 【資料1】の部②
- 3 【資料1】の部③
- 4 【資料1】の部④

「コミュニケーションの食い違いを放置しておくわけにもいきません」

【正答】 3

【解答のポイント】

★田中さんが考えていることと資料1に書かれていること(一③)を結びつけていると捉える

一「話し合いの様子」の田中さんの発言の空欄Aに当てはまる内容を、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

こんなふうに、人によって言葉の意味の伝え方がちがうと、伝え合うときに困ると思うよ。だから、

【資料1】に「コミュニケーションの食い違いを放置しておくわけにもいきません」と書かれているとおりだと思うよ。

田中さん

話し合いの様子」の田中さんの発言の空欄Aに当てはまる内容として適切なものを選択する

正答率

40.4%

中学校

●読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること【4二】

【正答例】

【理由】
文が長いので、読みづらく、体験活動の前と後での変化も伝わりにくいから。

【手紙の下書きの一部】
先日、お母様は、私たちの職場体験活動に参観していただき、ありがとうございました。大野さんをはじめ、お母様の皆さんに親切に指導していただき、多くの学びを得ることができました。
この職場体験活動をするまで、私は、生花店に働くことについて、華やかなイメージしか思っていなかった。しかし、皆さんに教わりながら、一つ一つ仕入れた商品を下処理したり、葉や花びらが落ちていないように気を付けたり、花を長持ちさせる方法や花言葉を勉強したりすることを通して、華やかさの裏には、それを支える作業や専門的な知識があることを知りました。

【解答のポイント】

★文を適切に分け、必要に応じて接続語等を補う

手紙の下書きを見直し、修正した方がよい部分を見付けて修正し、修正した方がよいと考えた理由を書く

ニ 三上さんは、さらに推敲を重ねようとしています。あなたなら、【手紙の下書きの一部】の、どの部分をどのように修正しますか。三上さんの修正の仕方を参考に、次の条件1から条件3にしたがって書きなさい。

条件1
修正した方がよい部分は複数ありますが、言葉の使い方や叙述の仕方などについて、あなたが特に修正した方がよいと考える部分を一つ選ぶこと。なお、手紙の下書きの一部の内容は、変わらないようにすること。

条件2
修正する際は、削除したり書き直したりしたい部分を線で消し、書き直す場合は、消した言葉の右横に、どのように直すのかを書くこと。

条件3
修正した方がよいと考えた理由を具体的に書くこと。なお、読み返して文章を直したいときは、線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

正答率

27.3%

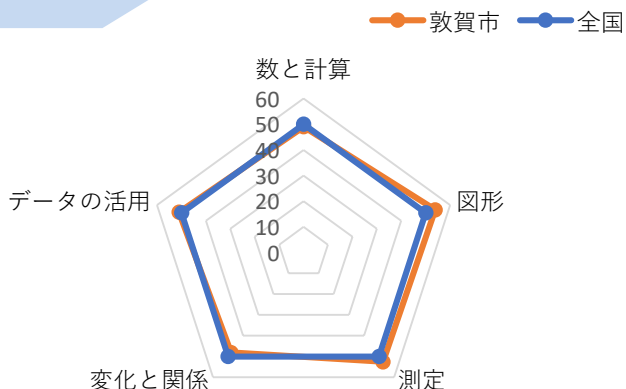
小中学校ともに、記述式問題における平均正答率の割合が高まってきており、学校生活のあらゆる場面において、「書く」ことを大切にしてきた成果が表れていると考えられます。

一方、課題である「思考力・判断力・表現力」をつけていくために、「根拠となる表現を押さえながら、文章の内容について正しく読み取ること」、「文章の内容について自らの考えを整理し、筋道を立てて話すこと」、「自分の考えを整理し、目的に合った文章を明確に書くこと」などに取り組む授業を継続していきます。

学習指導要領の内容別の結果(本市と全国)

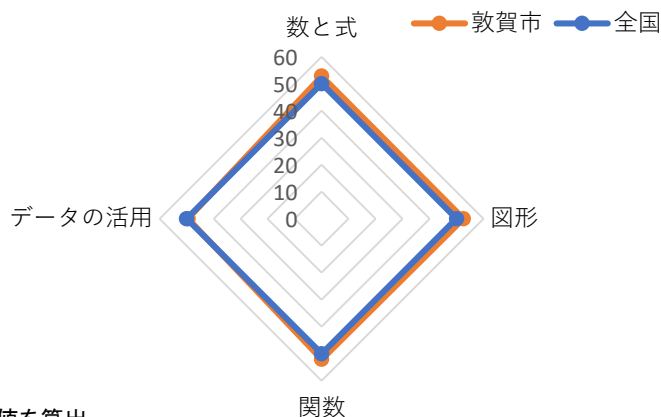
小学校

学習指導要領の領域	敦賀市	全国
数と計算	49.0	50
図形	53.9	50
測定	52.6	50
変化と関係	48.1	50
データの活用	51.0	50



中学校

学習指導要領の領域	敦賀市	全国
数と式	52.8	50
図形	52.5	50
関数	52.1	50
データの活用	49.5	50



※全国の領域別平均正答率(%)を50として敦賀市の値を算出

- ・小学校では、「図形」、「測定」、「データの活用」の領域において、全国平均を上回っています。特に、「図形」の領域において、全国を大きく上回る結果となっています。
- ・中学校では、ほぼすべての領域において、全国平均を上回る結果となっています。「データの活用」において、全国平均をわずかに下回りました。
- ・小中学校ともに、記述式問題における正答率が全国平均を上回っています。算数・数学の用語を使って、「表現する」ことを大切にしてきた成果が表れていると考えられます。

○良好であること ●課題であること（設問別）

【小学校算数】

○角の大きさについて理解していること【2(3)】

○異分母の分数の加法の計算をすること【3(4)】(次頁参照)

●分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加法と被加法が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述すること【3(2)】(次頁参照)

【中学校数学】

○事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例をあげることができること【6(1)】

○事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ること【8(1)】(次頁参照)

●式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明すること【6(2)】(次頁参照)

《 良 好 》

小学校

○異分母の分数の加法の計算をすること【3(4)】

$$\frac{1}{2} + \frac{1}{3} \text{ を計算する}$$

正答率 84.3 %

(4) $\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$ を計算しましょう。

【解答のポイント】

★ $1/2$ と $1/3$ の分母の最小公倍数である6を用いて通分し、 $3/6+2/6$ を計算することが必要である。

【正答】 $\frac{5}{6}$

中学校

○事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ること【8(1)】

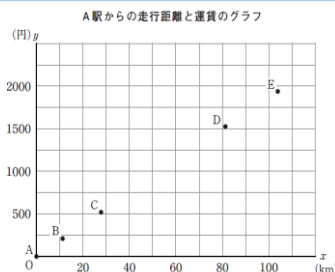
A駅からの走行距離と運賃の関係を表すグラフの何を読み取ればC駅とD駅の間の走行距離が分かるかを選ぶ

正答率 73.1 %

- ⑧ A駅の近くに住んでいる歩夢さんは、C駅とD駅の間にあるスタジアムによく行きます。
- 歩夢さんは、スタジアムの近くに新しい駅をつくる計画があることを知り、A駅から新しい駅までの運賃がいくらかになるのか気になりました。そこで、A駅からの走行距離と運賃をインターネットで調べ、次のような表にまとめました。

調べた結果

	A駅	B駅	C駅	D駅	E駅
A駅からの走行距離(km)	0.0	11.4	27.7	81.9	104.6
A駅からの運賃(円)	0	210	510	1520	1930



(1) 歩夢さんは、前ページのA駅からの走行距離と運賃のグラフを見て、C駅とD駅の間の走行距離は、他の駅と駅の間に比べて長いと思いました。

C駅とD駅の間の走行距離は、A駅からの走行距離と運賃のグラフの何を読み取ればわかりますか。下のAからEまでの中から正しいものを1つ選びなさい。

- ア 点Dのx座標と原点のx座標の差
☒ イ 点Dのx座標と点Cのx座標の差
 ウ 点Dのy座標と原点のy座標の差
 エ 点Dのy座標と点Cのy座標の差

【正答】イ

《 課 題 》

小学校

●分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加法と被加法が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述すること【3(2)】

3/4+2/3について、共通する単位分数と、3/4と2/3が、共通する単位分数の幾つ分になるかを書く

正答率 22.9 %

(2) ひろとさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり返っています。

まず、みおりさんは、 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ についてまとめています。



$\frac{2}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の2個分、 $\frac{1}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の1個分です。
 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ の計算は、 $\frac{1}{5}$ をもとにすると、2+1を使って考えることができます。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ は、もとにする数を $\frac{1}{5}$ にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について考えています。



$\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ の3個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の2個分です。
 もとにする数が $\frac{1}{4}$ と $\frac{1}{3}$ でちがうので、同じ数にしたいです。

【解答のポイント】

★共通する単位分数として $1/12$ を見だし、 $3/4$ は $9/12$ であることから、 $1/12$ の9個分、 $2/3$ は $8/12$ であることから $1/12$ の8個分ということをつえる

【正答例】

$3/4$ と $2/3$ のもとにする数を同じ数にすると、その数は $1/12$ になります。 $3/4$ は $1/12$ の9個分、 $2/3$ は $1/12$ の8個分です。

中学校

●式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明すること【6(2)】

3nと3n+3の和を $2(3n+1)+1$ と表した式から、連続する二つの3の倍数の和がどんな数であるかを説明する

正答率 24.4 %

(2) 連続する2つの3の倍数の和は、9の倍数になるとは限らないことに気づいた二人は、連続する2つの3の倍数の和がどんな数になるかを調べることにしました。

そこで、二人は、nを整数として、連続する2つの3の倍数を3n、3n+3と表してそれらの和を計算し、それぞれ次のように式を変形しました。

結菜さんの式の変形

$$\begin{aligned} 3n + (3n + 3) \\ = 3n + 3n + 3 \\ = 6n + 3 \\ = 3(2n + 1) \end{aligned}$$

太一さんの式の変形

$$\begin{aligned} 3n + (3n + 3) \\ = 3n + 3n + 3 \\ = 6n + 3 \\ = 2(3n + 1) + 1 \end{aligned}$$

結菜さんの式の変形の $3(2n+1)$ から、「連続する2つの3の倍数の和は、3の倍数である」ことがわかります。

太一さんの式の変形の $2(3n+1)+1$ から、連続する2つの3の倍数の和は、どんな数であるといえますか。「～は、……である。」という形で書きなさい。

【解答のポイント】

★太一さんの式の変形である「 $2(3n+1)+1$ 」は、「 $2 \times (\text{整数}) + 1$ 」という形になり、これは、「2の倍数に1を加えた数」であるため、「奇数」を表す

【正答例】

連続する2つの3の倍数の和は、奇数である。

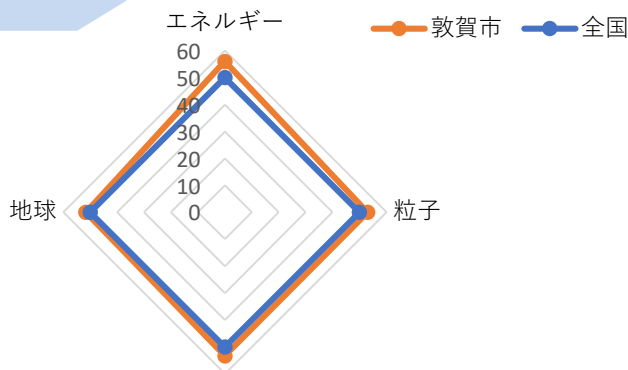
小中学校ともに、図形分野の平均正答率の割合が少しずつ高まっていることから、図形を構成する要素とその関係に着目し、図形の性質や構成の仕方、計量について考察する力は身につけてきていると考えられます。

一方、数と計算(式)分野においては、「数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目すること」や「筋道を立てて考え、証明すること」に課題が見られます。基準となる数を見だし数量の関係を捉えることや、数学的な用語や表現について、習得した知識を活用しながら理解を深める学習活動をさらに充実させていきます。

学習指導要領の内容別の結果(本市と全国)

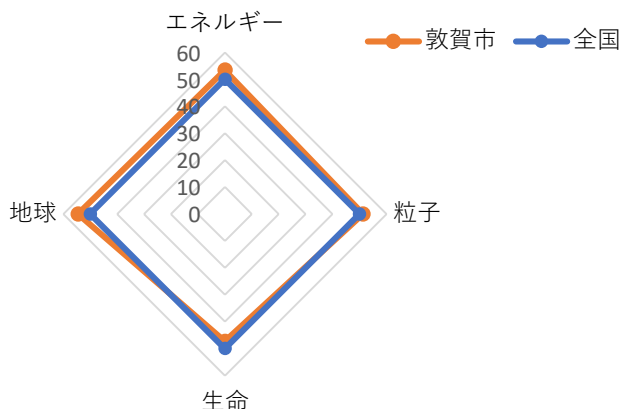
小学校

学習指導要領の領域	敦賀市	全国
エネルギー	56.0	50
粒子	53.0	50
生命	53.3	50
地球	51.6	50



中学校

学習指導要領の領域	敦賀市	全国
エネルギー	53.4	50
粒子	51.3	50
生命	47.3	50
地球	54.5	50



※全国の領域別平均正答率(%)を50として敦賀市の値を算出

- ・小学校では、どの領域も全国平均を上回っています。特に、「エネルギー」を柱とする領域において、全国を大きく上回る結果となっています。
- ・中学校では、ほぼすべての領域において、全国平均を上回る結果となっていますが、「生命」を柱とする領域においては、全国平均をわずかに下回りました。
- ・小中学校ともに「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」に関して、正答率が全国平均を上回りました。

○良好であること ●課題であること（設問別）

【小学校理科】

- 電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身に付いていること **【2(3)】**
(次頁参照)
- 赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現することができること **【1(1)】**
- 身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いていること **【2(1)】** (次頁参照)

【中学校理科】

- 科学的な探究を通してまとめられたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できること **【1(6)】** (次頁参照)
- 加熱を伴う実験における実験器具の操作等に関する技能が身に付いていること **【5(1)】**
- 小腸の柔毛、肺の肺胞、根毛に共通する構造について学習する場面において、共通性と多様性の見方を働かせながら比較し、多面的、総合的に分析して解釈すること **【7(1)】** (次頁参照)

〈良好〉

小学校

○電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることを知識が身に付いていること【2(3)】

ベルをたたく装置の電磁石について、電流がつくる磁力を強めるため、コイルの巻数の変え方を書く
正答率 84.6%

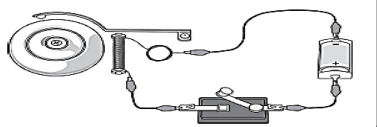
いおりさんとてつさんは、かね(ベル)について話しています。

かね(ベル)の鳴る音が小さいので、音を大きくしたいね。電磁石の強さを強くして、かねを強くたたけばいいね。



電磁石の強さを強くするには、次のようにするといね。

- ・電磁石のコイルの巻き数を変えたとしたら、巻き数を(ア)。
- ・かん電池を変えたとしたら、かん電池を2個直列つなぎにする。



(3)上のふきだしの(ア)にあてはまることばを書きましょう。

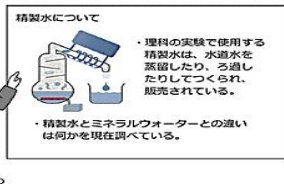
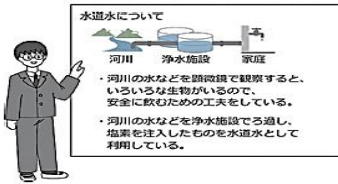
【正答例】多くする、増やす

中学校

○科学的な探究を通してまとめられたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できること【1(6)】

水道水と精製水に関する2人の発表を見て、探究の過程におけるあなたの振り返りを記述する
正答率 87.7%

水道水、精製水について探究したことを発表しています。



探究を通じて、さらに疑問に感じたことに着目して振り返ります。



探究を通じて、はじめの考えから考えが変化したことに着目して振り返ります。



探究を通じて、身近な生活とのつながりを感じたことに着目して振り返ります。

(6)上の発表を見て、水道水や精製水に対し、Bさん、Cさん、Dさんを参考にして、あなたの振り返りを書きなさい。

【正答例】

精製水は、水道水を蒸留したりろ過したりしてつくられることが分かり、ミネラルウォーターはどのようにしてつくられているのかについてさらに疑問を感じたので、調べてみたいと思いました。

〈課題〉

小学校

●身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることを知識が身に付いていること【2(1)】

アルミニウム、鉄、銅について、電気を通すか、磁石に引き付けられるか、それぞれの性質に当てはまるものを選ぶ
正答率 14.3%

(1)アルミニウム、鉄、銅の性質について、下の1から4までの中からそれぞれ1つ選んで、その番号を書きましょう。同じ番号を選んでもかまいません。

- 1 電気を通し、磁石に引き付けられる。
- 2 電気を通し、磁石に引き付けられない。
- 3 電気を通さず、磁石に引き付けられる。
- 4 電気を通さず、磁石に引き付けられない。

【正答】

アルミニウム: 2、鉄: 1、銅: 2

アルミニウム、鉄、銅のいずれかに、3または4と解答した人: 約80%



金属の共通する性質として、「電気を通す」という知識が身に付いていない

中学校

●小腸の柔毛、肺の肺胞、根毛に共通する構造について学習する場面において、共通性と多様性の見方を働かせながら比較し、多面的・総合的に分析して解釈すること【7(1)】

小腸の柔毛、肺の肺胞、根毛に共通する構造と同じ構造をもつものとして適切な事象を判断し、選択する
正答率 27.5%



次の①から③には、物質を体内に取り入れるための体の構造として共通点があります。

①小腸の柔毛



②肺の肺胞



③根毛



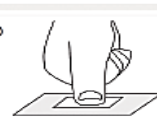
上の①から③の共通点と同じ内容を含むものとして、最も適切なものを1つ選びなさい。



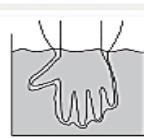
スチールウールをほぐして火をつける



水を使って小さな石などの汚れをとる



カバーガラスを軽く押してから観察する



ビニール袋に手を入れ、水の中に手を入れる

【正答】

スチールウールをほぐして火をつける

【解答のポイント】

★表面積を大きくするという共通点がある

・スチールウールは、火をつけるためにほぐし、空気と触れる表面積を大きくする

小中学校ともに、エネルギー分野の平均正答率の割合が高かったことから、物理現象の原理や数量的な関係に関する基礎的な知識が身に付いていると考えられます。

一方、中学校の生命分野においては、事象の共通点や仕組みに注目し、構造や機能の関係を多面的に捉える力に課題が見られます。今後は、共通性と多様性の見方を働かせながら比較し、多面的・総合的に分析して解釈する授業に取り組んでいきます。

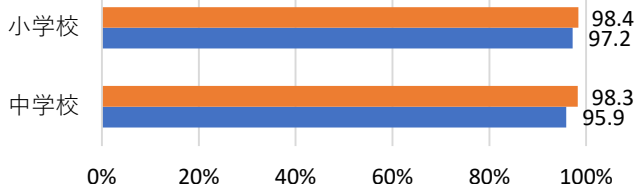
〈良好〉

■ 敦賀市

■ 全国

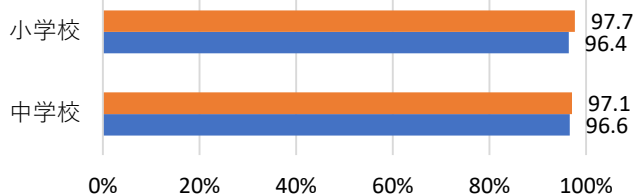
人権意識

〈いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか〉



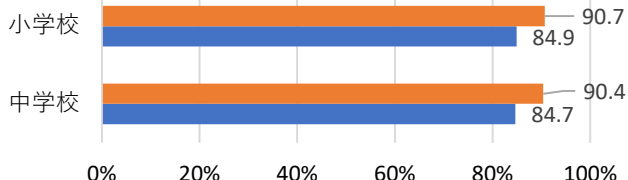
思いやり

〈人の役に立つ人間になりたいと思いますか〉



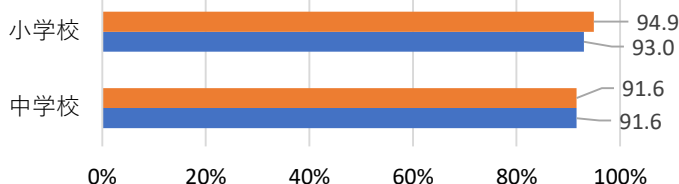
協働的な学び

〈学級の友達と間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができていますか〉



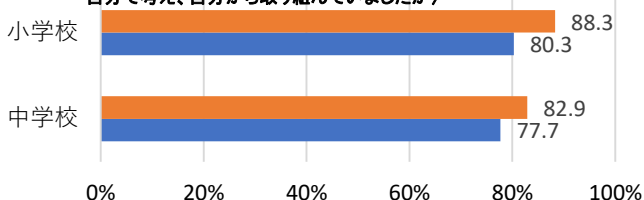
ウェルビーイング※2

〈普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはありますか〉



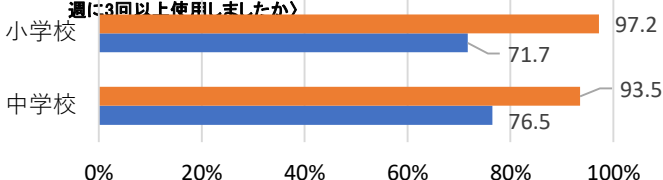
授業における主体的な学び

〈前の学年までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか〉



ICTの活用

〈前の学年までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週に3回以上使用しましたか〉



「友達関係に満足しているか」という質問に対して肯定的な回答をしている割合は、小中学校ともに90%以上と全国平均より高い数値となりました。これは、敦賀市の子どもたちが人権意識や他者に対する思いやりが育ってきており、教育活動全体を通じて豊かな人間性を育んできた成果が表れていると思われます。

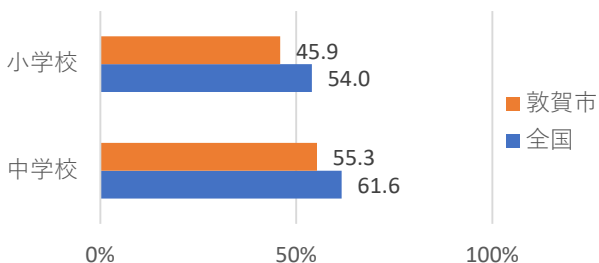
また、敦賀市が目指す「子どもが主役」の授業づくりのもと、子どもたちはICTを効果的に活用しながら友達と協働的な学びを進める中で、主体的に自分の考えを深めている様子がうかがえます。さらに、こうした学びを通して友達との良好な関係が築けていることから、「普段の生活の中で幸せになる」という気持ちにつながっていると考えられます。

変化の激しい社会を生きていく上で、子どもたちが多様な他者と関わりながら幸福を実感できる人生を歩んでいけるよう、今後も家庭や地域の方々と連携を図りながら見守り、支えていきます。

〈課題〉

学習習慣

〈学校の授業時間以外に、普段(月～金)1時間以上勉強している〉

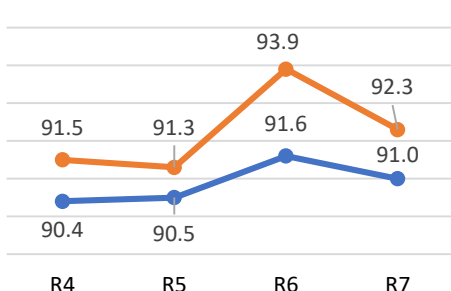


「授業時間以外に1時間以上学習している」と回答した割合は、小学校45.9%(全国比-8.1%)、中学校55.3%(全国比-6.3%)、「授業時間以外に30分以上読書している」と回答した割合は、小学校29.5%(全国比-1.6%)、中学校17.8%(全国比-3.6%)とかなり低いことが分かりました。

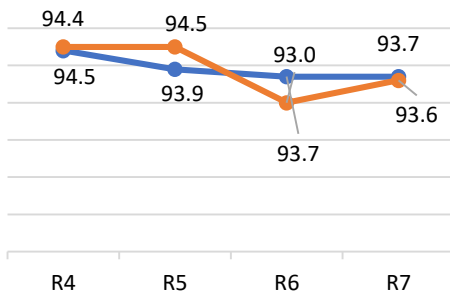
今後は、家庭での学習習慣が身につくよう、敦賀市で作成した「家庭学習ガイド」を参考に指導したり、タブレット端末を活用した課題を出したりするなど、児童生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫をしていきます。

生活習慣【小学校】

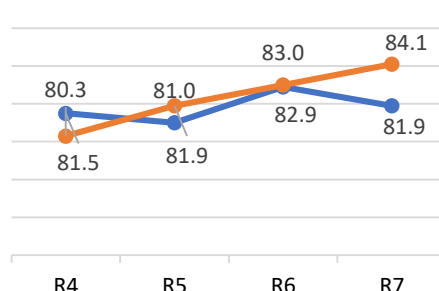
〈毎日同じくらいの時刻に起きている〉



〈毎日朝食を食べている〉

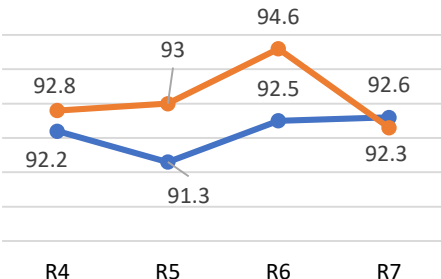


〈毎日同じくらいの時刻に寝ている〉

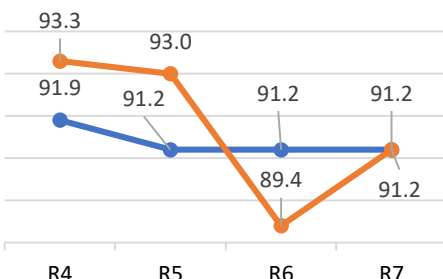


生活習慣【中学校】

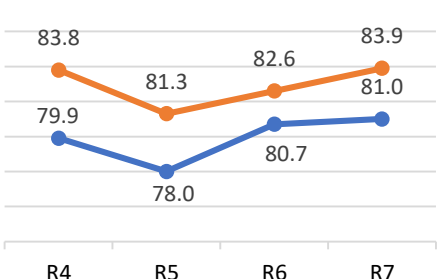
〈毎日同じくらいの時刻に起きている〉



〈毎日朝食を食べている〉

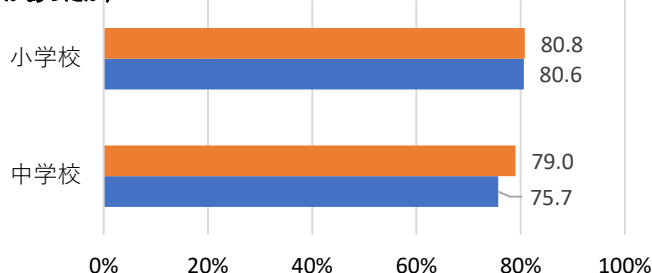


〈毎日同じくらいの時刻に寝ている〉



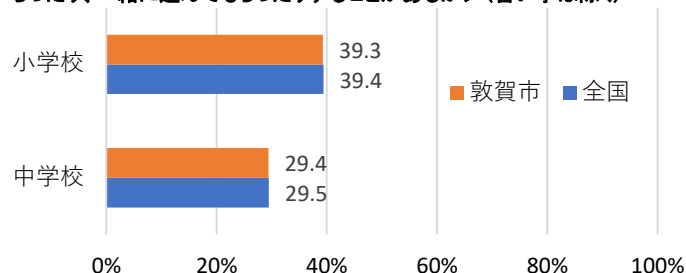
【自然体験】

〈これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがあったか〉



【地域の方とのふれあい】

〈地域の方に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがあるか〉(習い事は除く)



生活習慣はすべての土台であり、心身の健康を支えるものです。敦賀の子どもたちの基本的な生活習慣は、ご家庭の支えにより、以前から高い水準をほぼ保っています。健やかな身体を育成するために、学校では「生活のリズムを整える」ことの重要性を引き続き指導していきますので、ご家庭でもご協力をお願いいたします。

一方で、「地域の方と授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある」と回答した割合は、小学校39.3%、中学校29.4%と低いことが分かりました。また、「地域や社会をよくするために何かしたい」という質問では、肯定的な回答が小学校83.3%（前年度比－0.5%）、中学校77.7%（同比－6.1%）となりました。昨年度と比較すると肯定的な回答の割合が減少していることから、地域との関わりの少なさが意識の低下に影響している可能性も考えられます。

今後、学校・家庭・地域の連携を強化し、ボランティア活動や部活動の地域展開などの取組を進めていくために、引き続きご協力をお願いいたします。